

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

たすき 「襷」をつなぐ

新しい年、平成29年（2017年）がスタートし約2週間が経ちました。今年は酉年です。皆さんにとって、のびのびと羽ばたく飛躍の一年となるよう願っています。

三学期が始まりました。三学期は、それぞれの学年のまとめの時期でもあり、次年度の準備、言い換えると**新しい学年の0（ゼロ）学期**とも言えるでしょう。三学期は一番短い学期で、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」とよく言われます。うかうかしていると、あっという間に終わってしまいますよ。

年の初めには誰もが「今年こそは」と、心に期した抱負があると思います。終業式でファーストペンギンの話を紹介しましたが、一步踏み出す勇気を持って行動して欲しいと思います。しかし、その気持ちも一日、二日と日が過ぎるにつれて薄れ、惰性に流されてしまうことがあります。新年を迎えるという節目に目標を持ち、その実現に向けて**地道に努力**を続けてください。

さて、話は変わりますが、年末年始はサッカーやラグビー等などのスポーツが行われ、連日テレビ放映されていました。私は、その中で、毎年1月2日・3日に開催される「箱根駅伝」を楽しみにしています。今年は第93回大会で、青山学院大学が力を見せつけ、復路も独走して総合優勝を果たし、箱根駅伝3連覇、大学駅伝3冠の偉業を達成しました。

選手1人が20km以上走ります。5人で片道100km以上です。1人が離脱するとあとのランナーも失格となり、参考記録として走ることにはできるものの、正式には記録として認められない非情なものです。今年は途中棄権がなく、全選手走りきる事が出来て良かったです。

箱根駅伝は、プロ野球の「逆転満塁ホームラン」のような大番狂わせはありません。しかし、なぜ目が釘付けになるのでしょうか。「区間新記録」「シード権」「繰り上げスタート」という独特のルールがあるからだと思います。特に、「繰り上げスタート」はトップのチームが通過して所定の時間（復路は20分）が経過すると行われます。これは、交通規制の関係で行われるのですが、選手が近づいているのに繰り上げスタートされるのは、見ている方もつらい気持ちにさせられます。

しかし、このようなルールが**「襷をつなぐ」**という名セリフを生み出し、つなごうとするランナーを応援したくなります。監督や選手はもちろん、出場できなかった部員、給水を手渡しする部員など、**チームとしての力強さ**、チームワークに心が打たれました。

チームワークといえば、クラス全員で取り組む行事、コーラスコンクールが約1か月後に迫っています。各クラスが**心を一つ**にした素晴らしい合唱を期待しています。また、6年生はいよいよ明日センター試験本番を迎えます。自分の力を信じ、最後まで粘り強く頑張ってください。健闘を祈ります。また、卒業式（3月1日）までの一日一日を悔いなく過ごし、**後輩たちにしっかり「襷」をつないで欲しい**と思います。